

糖尿病ワンポイントレッスン8

2004年4月 by D.M.T. (北陸病院糖尿病チーム) Yoshimura

今回は、歯周病のお話をします。

1. 歯周病と糖尿病

以前から糖尿病患者には、歯周病の合併症が高いことが言われていましたが、今日では、網膜症、腎症、神経障害の3大合併症に加えて、末梢血管、大血管障害に続く、糖尿病の6番目の合併症と言われるようになりました。

2. 歯周病とは？

大きく2つに分けて、炎症が歯肉に限局している歯肉炎と、歯の支持組織である歯槽骨、セメント質、歯根膜にまで炎症が、波及した歯周病とに分類されます。

最も一般的に見られる症状は、

- 歯肉の発赤、腫脹、退縮
- 歯肉からの出血
- 歯肉ポケットの形成
- 支持組織の破壊にともなう歯の動揺
- 口臭など

3. 糖尿病患者における歯周治療の注意点

血糖コントロールが良好な糖尿病患者は、主治医とよく相談し歯科治療を行ないましょう。治療中は、食事と、血糖値のコントロールに注意し、食事を抜いて低血糖など起こさないようにしましょう。

* 糖尿病では、歯周病の合併率が高いと言われていますが、早期発見による適切な歯周治療、適切な口腔ケア、血糖コントロールを守ることにより、生涯自分の歯で、美味しく食事を楽しむことができます。

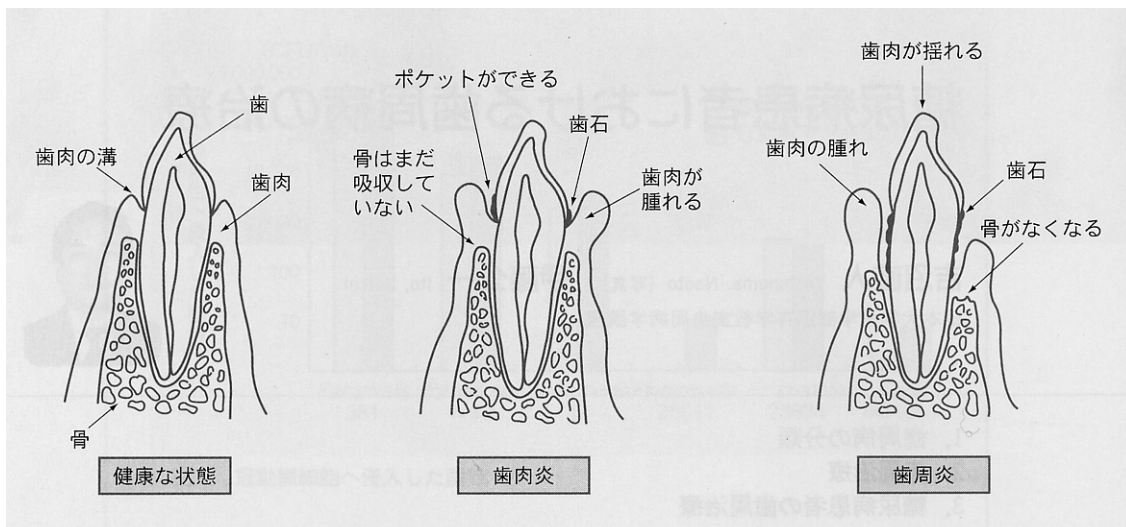


図1 健康な歯周組織と歯周病の模式図